医療法人社団 埼玉巨樹の会 新久喜総合病院

ともに vol. 6

～患者様と共に、地域の皆様と共に、職員と共に～

地域医療支援病院承認
救急症例検討会
治療と職業の両立支援セミナー
久喜市ソフトボール大会
ヨーロッパ研修
呼吸器外科のご紹介
第4回カマチグループ医療連携会
九都県市合同防災訓練
リレーマラソン
健康診断を受けませんか







『地域医療支援病院』

当院は、平成30年10月22日付で埼玉県知事より、医療法に基づく

として承認されました。

地域医療支援病院とは

「地域医療支援病院」とは、地域の医療機関（かかりつけ医）との役割分担と連携を図り、地域医療全体の充実を図ることを目的とした制度となります。「地域医療支援病院」としての能力を備え、設備や診療機能に一定の要件を満たした地域医療の中核となる病院が承認されます。

地域医療支援病院の要件

①紹介患者様に対する医療の提供体制が整備されていること

・紹介外来制を原則としており、紹介率が80%を上回っていること

このほか、次の1)、2)いずれかの条件を満たす場合も同様の取り扱い

1)紹介率が65%を超え、かつ、逆紹介率が40%を上回ること

2)紹介率が50%を超え、かつ、逆紹介率が70%を上回ること

②建物・設備・機器などを地域の医師が共同利用できる体制を整えていること

③救急医療を提供する能力を有すること

・24時間体制での救急患者受け入れ

・重症救急患者が優先使用できる病床の確保

・救急車による傷病者の搬入に適した構造設備

このほか、次の1)、2)いずれかの条件を満たすこと

1)医療圏内の救急搬送件数の5%以上を担うこと

2)年間1,000件以上の救急搬送患者の受入を行っていること

④地域の医療従事者の資質向上のために研修を実施すること

⑤原則として200床以上の入院施設を有すること



“断らない医療”・“質の高い医療”を継続し、地域の中核病院として、地域の先生方をはじめ医療機関や介護事業所との連携をより一層深め、地域の皆様とともに地域完結型医療を推進して参りますので引き続き、御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



呼吸器外科のご紹介

当院の呼吸器外科では、

1. 肺腫瘍性疾患【原発性肺癌、転移性肺腫瘍、良性腫瘍】
2. 胸膜疾患【気胸、縦隔気腫】
3. 呼吸器感染症【肺炎・胸膜炎、膿胸】
4. 胸部外傷【肋骨・胸骨骨折、血胸】
5. 縦隔腫瘍性疾患等　を担当します。

わが国における死因のトップは悪性新生物ですが、その中でも中高年を中心に発症する肺癌での死亡は最も多く7万人を超えています（厚労省人口動態統計平成27年度）。「肺癌」の治療成績の向上のため、健診部門との連携による早期発見・早期治療はもとより、治療に際しても、手術、全身化学療法、放射線療法などの集学的治療を行っています。その他、救急医療に関しても積極的に取り組んでおり、若年者を中心として発症する「気胸」、高齢者の肺炎の悪化から発症する「膿胸」、突如として見舞われる「胸部外傷」の治療など、幅広い年齢層にわたる疾患を各診療科と共にそれぞれの患者さんに寄り沿った治療を行って参ります。

担当医師



宮田　剛彰（みやた　たけあき）

新久喜総合病院　呼吸器外科部長　救急科医長
産業医科大学　平成21年卒

日本外科学会専門医
緩和ケア研修会修了
臨床研修医指導医講習会終了
医学博士
産業医

＜所属学会＞
日本胸部外科学会　日本呼吸器外科学会
日本呼吸器学会　日本外科学会
日本肺癌学会　日本癌学会
日本臨床外科学会



比嘉　花絵（ひが　はなえ）

新久喜総合病院　呼吸器外科医師　救急科医師
宮崎大学　平成26年卒

緩和ケア研修会終了
回復期リハ病棟専従医研修会終了

＜所属学会＞
日本胸部外科学会　日本呼吸器外科学会
日本呼吸器学会　日本外科学会
日本肺癌学会　日本臨床外科学会



吉松　隆（よしまつ　たかし）

新久喜総合病院　呼吸器外科顧問（福岡和白病院　呼吸器外科部長）
産業医科大学　平成元年卒

日本呼吸器外科学会専門医・評議員
日本胸部外科学会九州支部評議員
日本がん治療認定医機構暫定教育医
医学博士　産業医
日本胸部外科学会認定医
日本外科学会指導医・専門医・認定医
日本肺癌学会九州支部評議員



第2回 新久喜総合病院
救急症例検討会

「第2回　新久喜総合病院　救急症例検討会」が平成30年8月21日(火)に開催されました。症例検討会には地域の消防隊、救急隊の方々に多く参加して頂き当院へ搬送された2症例を検討しました。

救急隊入電から病院搬入、治療までの対応を振り返り、普段現場でご活躍されている地域の救急隊と、医師、看護師、コ·メディカル、事務等の病院側からの多角的で活発な意見交換が行われました。また、当院医師により2症例それぞれの症例について講義も行われました。救急医療はリレーのバトンの様に多くの職種が携わります。地域における救急医療の質の向上に繋がるとても有意義な時間が過ごす事ができました。

この会をきっかけに消防·救急·病院の顔の見える関係が構築され、スムーズに救急医療が提供できるよう継続して取り組んでいきたいと考えております。

看護部　外来副主任　佐藤　綾美

第4回 カマチグループ医療連携会



平成30年9月20日(木)東京帝国ホテルにて「第4回カマチグループ医療連携会」が開催されました。

お忙しい中、日頃からお世話になっている地域の医療機関、介護施設より総勢1,000名を超える方々にお越しいただき盛大な医療連携の会となりました。

今後も顔の見える連携を心掛けてカマチグループ一丸となり取り組んでいきたいと思います。

地域医療部　副主任　池主　祐志









治療と職業の両立支援セミナー

平成30年11月26日(月)「治療と職業の両立支援セミナー」を開催致しました。

講 師

①関谷　栄先生　埼玉県医師会産業保健委員会　副委員長
一般社団法人　南埼玉郡市医師会　副会長
新井病院　病院長

②山岸　玲子先生　埼玉県産業保健総合支援センター
両立支援促進員

主治医による意見書作成の方法や両立支援促進員についての役割など国が進めている事業について詳しく説明頂きました。

当院は埼玉県がん診療指定病院でもあり、がん患者様の治療はもちろんの事、職業生活についても病院全体で今後もサポート体制を強化していきたいと考えます。

地域医療部　副主任　森　崇広








新久喜総合病院 DMAT 第39回 九都県市合同防災訓練






8月26日(日)第39回九都県市合同防災訓練(平成30年度埼玉県･蓮田市総合防災訓練)に、新久喜総合病院DMATとして参加させていただきました。

蓮田市総合市民体育館にて、防災対策における様々な課題を踏まえ、協力機関との緊密な連携を充実強化し、災害発生から人命救助、医療機関への緊急移送までの訓練が実施されました。とても有意義な訓練に参加でき、いつ起こるかわからない災害に備え、日頃からの準備が必要であり、またチームワークとコミュニケーション力が重要であると再認識しました。

今後も訓練を受けて、実際の災害に備えていきたいと思います。

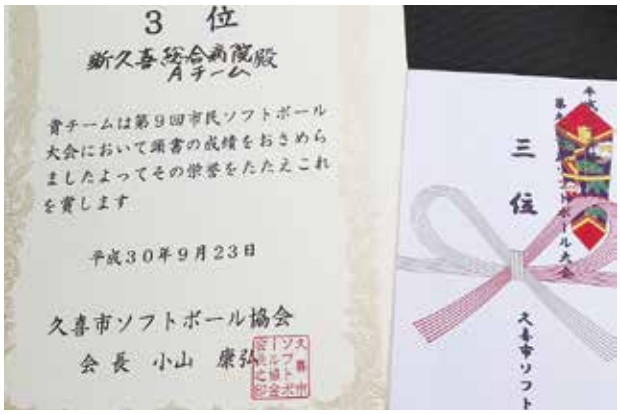
看護部　外来副主任　加藤木　安代

第9回 久喜市 市民ソフトボール大会

8月26日(日)、9月23日(日)







8月26日(日)、9月23日(日)に、第9回久喜市市民ソフトボール大会が南栗橋スポーツ広場にて行われました。

当院からは2チームが参加し、23チーム中でAチームが見事3位入賞しました。

今年は記録的猛暑でしたが、熱中症に注意しながら、一致団結して勝ち進むことができました。

来年こそは優勝目指して頑張りたいと思います。

リハビリテーション科　寺田　貴之

味の素スタジアム6時間耐久 リレーマラソン











当院『新久喜総合病院マラソン部』は東京都調布市で行われた『味の素スタジアム6時間耐久リレーマラソン』に関連病院である小金井リハビリテーション病院のスタッフと参加してきました。

リレーマラソンとは、一周2kmのコースを6人でリレーして42.195kmを走る種目です。当日は天候に恵まれ、それぞれがチームの襷を繋ぐために一生懸命走り、全チームが完走することができました。

マラソンを走ることで諦めない心や、チームの為に助け合う大切さが改めて実感することができました。

リハビリテーション科　森　優樹

2018年度　カマチグループ

ヨーロッパ研修

10月15日～10月21日











10月15日～10月21日までグループ病院のリハビリ職員と共にヨーロッパ研修に参加させて頂きました。デンマークのコペンハーゲン市にある大学病院や高齢者入所施設等を見学し、スタッフや利用者の話を直接聞くことができ、国によって目標とするものや職域が異なることを知ることができました。

また、きれいな街を散策したり、グループ病院のスタッフとの交流や情報交換も行え、とても楽しい一週間でした。今回の経験を今後の業務に活かしていきたいと思います。　　リハビリテーション科　森田　直子

健康診断を受けませんか

当院健康管理センターでは、人間ドックや脳ドックをはじめ様々なコースの健康診断をご用意しています。生活習慣を見直し元気な毎日を送っていただく為にも、ぜひ一度ご自身の健康チェックをおこなってはいかがでしょうか。

主なコース

- 日帰り人間ドック
- 生活習慣病に特化したコース(コース11.12.13)
- 脳ドック
- 肺ドック

検査内容

- 身体測定
- 肺機能
- 心電図
- 尿や便の検査
- 超音波検査
- 視力･聴力
- 眼底カメラ
- レントゲン
- 血液検査
- 医師の診察

※内容は各コースにより異なります。予約時にご確認ください。



追加で申し込みできるもの(オプション検査)

- 頭部MRI
- 骨密度測定
- 頸部超音波検査
- 胸部CT
- 各種血液検査（腫瘍マーカー他）

※単体ではお受けいただけません。
※予約状況によってはお受けできない日もございます。予約時に係にご確認ください。

お申込みからの流れ

①お申込み(電話または来院)
②案内状と検査キットの送付
③ドック受診
④検査結果の送付(約1か月)

※検査結果に応じて外来受診のご案内もさせて頂きます。






どのコースを受けたらよいのか
わからない時には、お気軽にご相談ください。
詳しいパンフレットもございます。

ご予約とお問い合わせ　http://shinkuki-hp.jp

新久喜総合病院　健康管理センター
(直通電話)0480-44-8413
月曜日~金曜日　朝8:30~夕方5:00

スタッフ募集

新久喜総合病院



新久喜総合病院は、元はJA埼玉県厚生連が経営する病院であり、開設5年の急性期病院でしたが、2016年4月1日より巨樹の会に経営移譲されグループ病院の仲間入りをし、「新久喜総合病院」として24時間365日「断らない病院」として生まれ変わりました。

とても働きやすい病院です。

病院概要

開　　設：2016年4月1日
診 療 科 目：内科／呼吸器内科／循環器内科／消化器内科／代謝・糖尿病内科／腎臓内科／神経内科／外科／肛門外科／消化器外科／心臓血管外科／呼吸器外科
整形外科／脳神経外科／乳腺外科／形成外科／皮膚科／泌尿器科／婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／リハビリテーション科／放射線科／麻酔科／救急科／病理診断科
病　　床　　数：300床　急性期病棟：182床　ICU：8床　HCU：12床　回復期リハビリテーション病棟：98床
看 護 基 準：急性期病棟：7対1　ICU：2対1　HCU：4対1　回復期リハビリテーション病棟：13対1
救急搬入患者数：月約600件
手 術 件 数：月約200件～250件

募集職種　**看護師・准看護師・看護助手・薬剤師・検査技師・放射線技師・臨床工学技士・社会福祉士・作業療法士**
言語聴覚士　※詳細はホームページをご確認下さい。http://shinkuki-hp.jp

■所在地　埼玉県久喜市上早見418-1　　■お問い合わせ先　TEL 0480-26-0033

人間ドックのご案内



当センターでは、地域の皆様ならびに企業等の皆様に健康で充実した毎日を送っていただけるように、生活習慣病をはじめ様々な病気の早期発見、早期治療のための健康診断をおこなっています。充実した設備と医療体制で皆様のお役に立てればと考えております。

ご自身とご家族のためにも、ぜひ人間ドックを受診して現在の健康状態を確認してみませんか?

ご予約・お問い合わせ先
健康管理センター TEL 0480-44-8413

編集後記

当院は、平成30年10月22日で埼玉県知事より、医療法に基づく『地域医療支援病院』として承認されました。『地域完結型医療』の中心的役割を担うのが『地域医療支援病院』です。地域の医療機関を支援することで地域全体の医療の質が向上し、地域の皆さまにより良い医療が提供できるよう、また、地域の方が安心して医療を受けることのできる医療環境を整える事が今後、当院に課せられた使命であると考え、より一層職員一同邁進して参ります。

放射線科　大宮司



お車の場合
県道3号、久喜市上早見の交差点を菖浦方面に曲がり約250m（久喜ICより約3分）

電車の場合
JR宇都宮線・東武伊勢崎線 久喜駅下車、徒歩約30分

バスの場合
[朝日バス]久喜駅西口から約10分
- 久西01　久喜駅西口～新久喜総合病院前～菖浦仲橋
- 久西02　久喜駅西口～新久喜総合病院（玄関）～菖浦仲橋

[久喜市市内循環バス]
- 除堀・所久喜循環
- 六万部・北中曽根循環

新久喜総合病院 広報誌
ともに vol. 6
～患者様と共に、地域の皆様と共に、職員と共に～

医療法人社団 埼玉巨樹の会
新久喜総合病院
〒346-8530 埼玉県久喜市上早見418-1
http://shinkuki-hp.jp
TEL 0480-26-0033　FAX 0480-44-8026

発行日：平成30年12月25日　担当者：地域医療部　森 崇広